

市政のひろば6月号「多文化共生のための取り組みに関するアンケート」結果

平成30年6月号の広報にて行った、多文化共生に関するアンケートの集計結果は以下のとおりです。

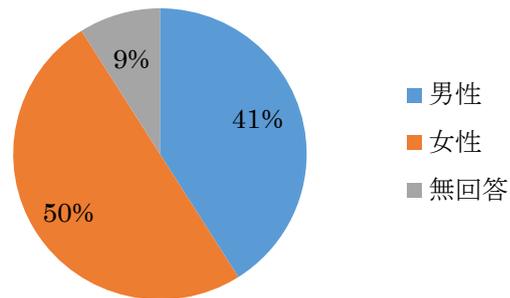
■回答者内訳

全回答者：78（単位：人）

【性別】

男性	32
女性	39
無回答	7

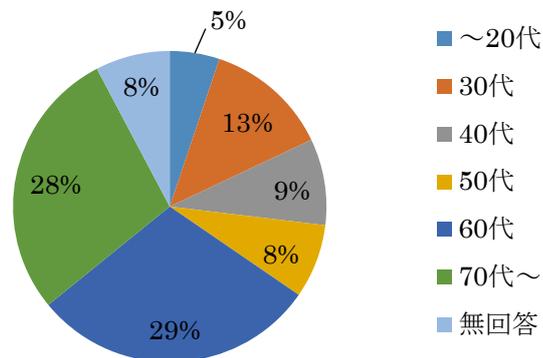
回答者内訳（性別）



【年代】

～20代	4
30代	10
40代	7
50代	6
60代	23
70代～	22
無回答	6

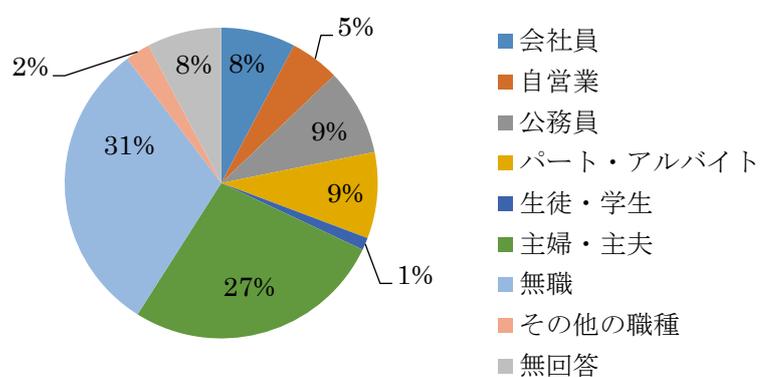
回答者内訳（年代）



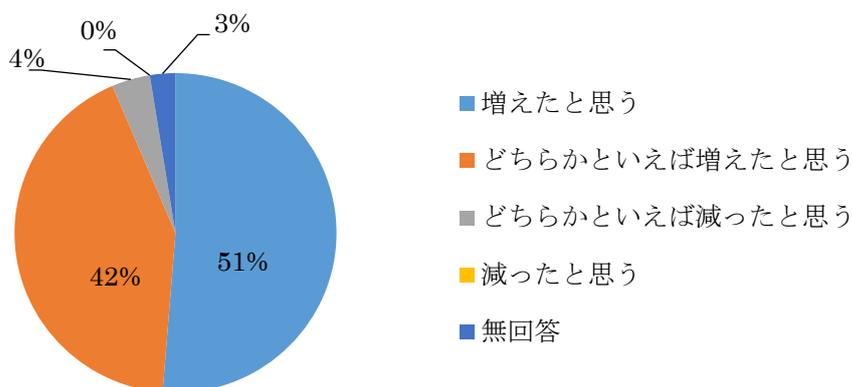
【職業】

会社員	6
自営業	4
公務員	7
パート・アルバイト	7
生徒・学生	1
主婦・主夫	21
無職	24
その他	2
無回答	6

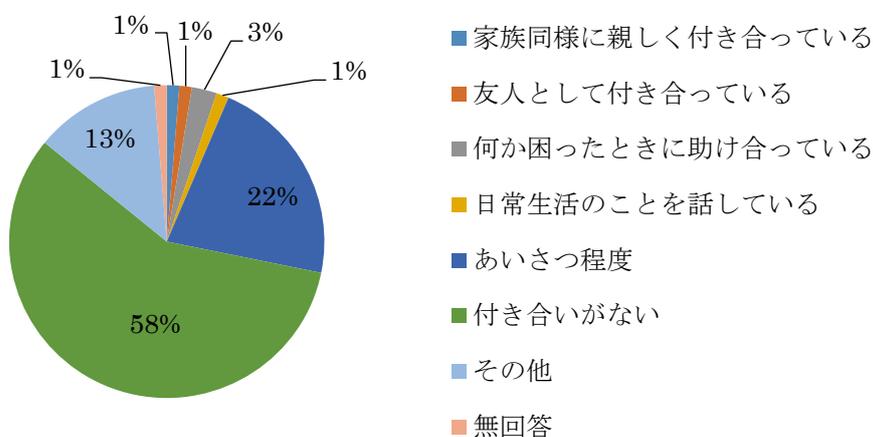
回答者内訳（職業）



問1 あなたの身近には、外国人が増えたと感じますか。



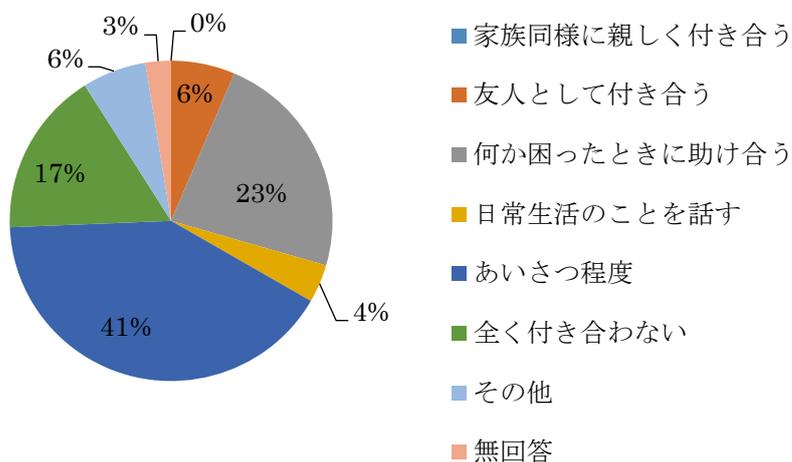
問2 あなたは現在、近所の外国人とどんな付き合いがありますか。



○その他の意見（一部抜粋）

- ・ボランティアで外国人に日本語を教えている。
- ・仕事上付き合いがある。
- ・近所にいない

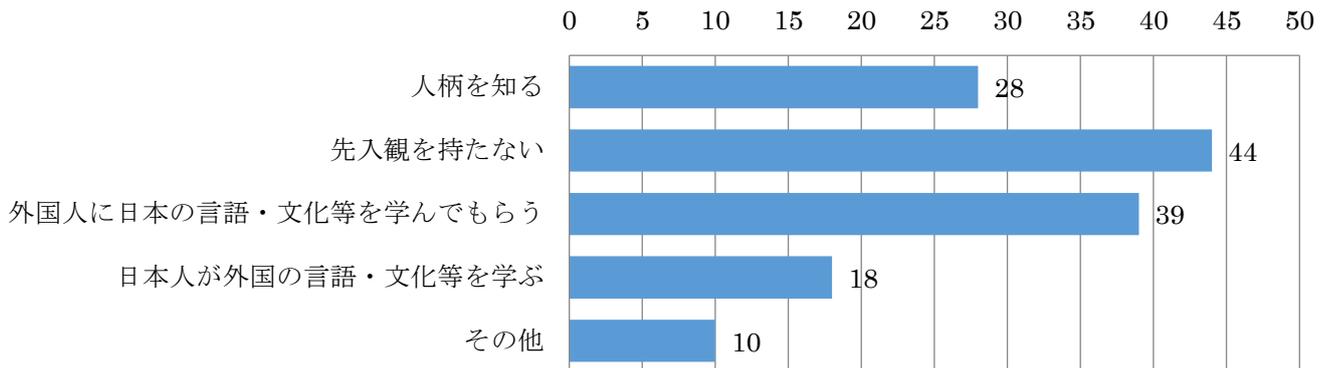
問2-2 今後どのように接していきたいですか。



○その他の意見（一部抜粋）

- ・困っていたら助けたい。
- ・外国人の方たちと知り合う機会が行政で持てればと思います。
- ・ごみの出し方のアドバイスを。
- ・日本人と同様に接する。

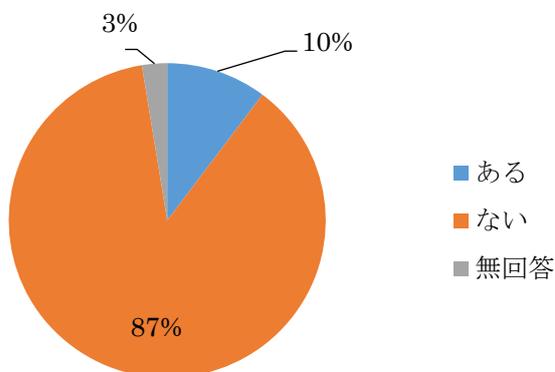
問3 同じ地域で日本人と外国人が共に生活していくうえで、大切なことは何だと思えますか。（複数回答可）



○その他の意見（一部抜粋）

- ・事情をくみとって寛容さを持つ。
- ・人としてのやさしさ。思いやり。
- ・文化の違いは必ずあるので共存していく形で。
- ・日本の規則を教える（ごみ出し etc）
- ・生活習慣を知る。
- ・外国人に日本のルールやマナーを学んでもらう事が先です。

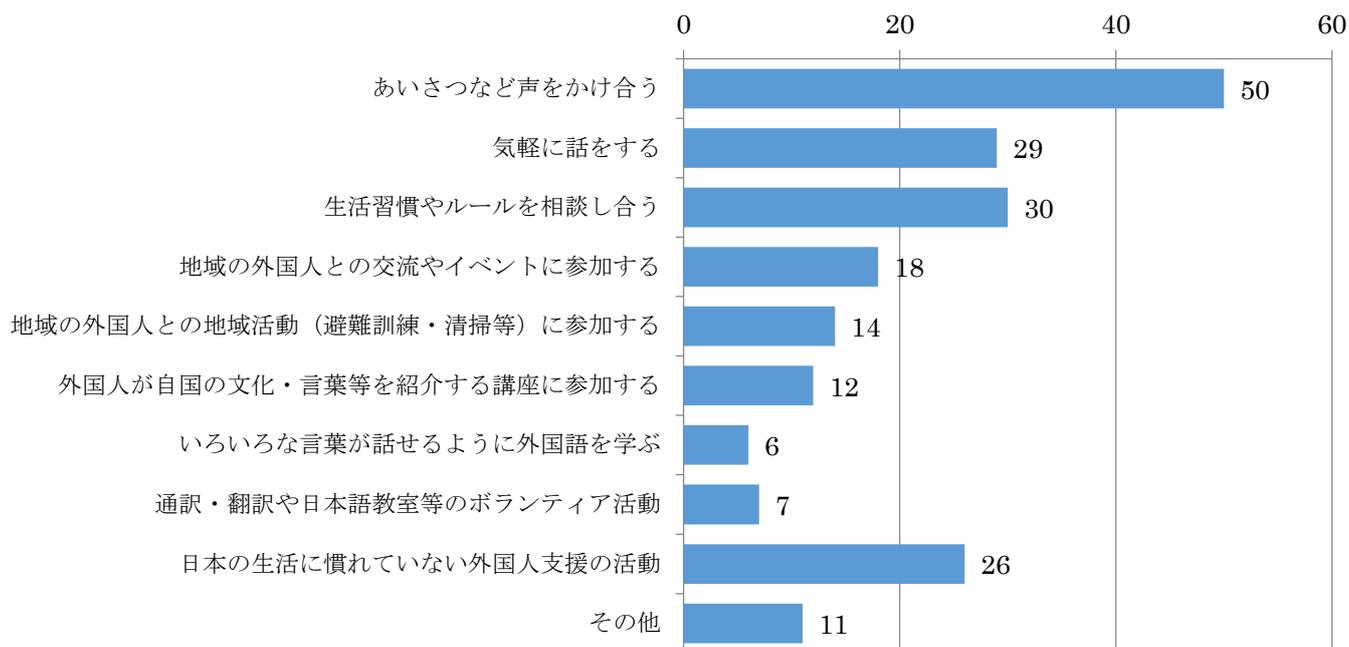
問4 近所の外国人とトラブルの経験がありますか。



問4-2 その理由は何ですか。(問4で①を選択された方のみ)

- ・ゴミ出しのルールが守られない
- ・町内のルールが理解出来ず
- ・深夜まで騒がしい
- ・日本に合わせようとしない。日本を学ぼうとしない。

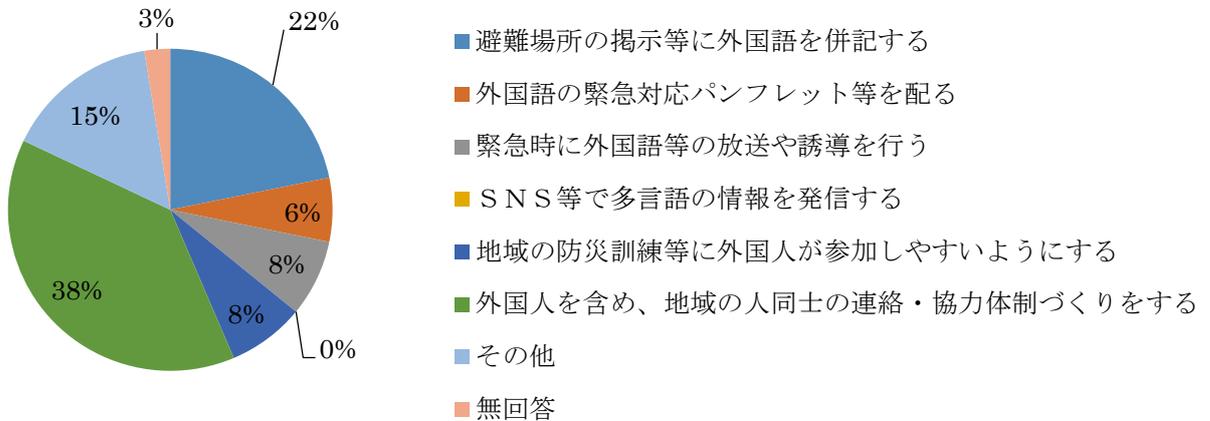
問5 多文化共生社会をつくるうえで、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答可)



○その他の意見 (一部抜粋)

- ・全て大切であり、やっていけばいいかな
- ・差別感を持たない
- ・少子高齢化の日本に他国の人の労働力は必要と考える。皆、仲良く生活できれば。
- ・基本的に市外から引っ越してきた人と対応は同じ。外国人だからと区別する必要なし。
- ・現実に解らない
- ・相談し合うとか支援するはずっと先の話だと思う。

問6 地震等の災害が起こった時には、外国人を含めて、地域住民で協力し合って対応することが求められます。そのために最も必要な施策は何だと思えますか。



○その他の意見（一部抜粋）

- ・各校区内コミュニティ活動での参加の呼び掛けをする
- ・事後なら全てにおいて人種や障害に関係のない対応が必要
- ・国籍別に分けてほしい
- ・SNSの時代かも
- ・今やることはない！
- ・必要ない。外国でわざわざ日本語で掲示したりなどしていない。

問7 差し支えなければお住まいの町名を記入してください。

省略

問8 多文化共生の推進について、津島市に望む施策等がありましたらご記入ください。

（一部抜粋）

- ・人と人との結び付き、お互い理解できる場所を設ける。
- ・外国人との交流イベントを実施する。外国の若者も永住したくなる町作りをする。
- ・交流会の充実・・・
- ・年を重ねても地域の皆さんと気軽に話し合える場所が欲しいです
- ・行政から市内に住んでいる外国の方たちへの窓口を作りコミュニティからのパイプラインを作る（市民協働）
- ・市内でのイベント企画等 SNS で発信したり、語学教室等手軽に参加できるように PR する。外国人のテナント等に交流を PR する。
- ・英会話（英語が話せればコミュニケーションの対象は広がる）サロンを開く。交流できるイベントの開催
- ・催事、行事、祭など共に参加出来る様にする。
- ・地域コミュニティセンターを利用する

- ・ごみの出し方、災害時の対応、日本の文化等を教えてあげる機会をつくる。国際交流協会と協力して、ゲストハウスなどで参加費をもらって外国人住民と日本人の交流の場を設ける。外国人住民にSNSで母国の人にゲストハウスのPRもしてもらえるかも？
- ・外国の方にはもっと文化、地域のルールなどもっと知ってもらいたいので、参加しやすい場所を！
- ・ゴミの正しい扱い方を指導する。お互いが笑顔で接すること。
- ・トラブルの原因となる生活面のルールをしっかりと教えて理解してもらう。
- ・偏見を持たない事や言語教育、生活習慣やルールの指導を市が取り組む、個人では難しい。
- ・市内のコミュニティ団体や関係機関と協力し市内在住の外国人の現状を知るための調査等を行い多文化共生に取り組んでほしいと思います。
- ・生活習慣、犯罪等が起きないように学習してもらう。
- ・小中学校で多文化交流の授業をとり入れる。まず市民の意識改革が必要、長い目で。
- ・温かく外国人に接し、それなりの市民としての在り方を説明して犯罪を犯さなければ共生しても良いと思う。とりあえず警察沙汰にならない事。
- ・差別する事無く、治安の維持と、様々な支援を行って欲しいです（外国人にとっても、住み良い街作りをも目指してください）。
- ・差別なく、人間として思いやりの心（気持ち）を希望します。
- ・外国人を多地域に受け入れる。海外に若い人達を体験に送り出す。
- ・外国人が住むには仕事に就くはずなので企業と連携を取り採用した企業にしっかりした対応が出来る様なシステム作りが必要。
- ・外国人でも働きに来て金をもらおうと一生懸命の人もいるのだから、先入観を持たないように。
- ・普段から日本語でいねいにジェスチャーを交えて何度でも説明する。
- ・現在立ち上げていないようであれば特に災害時に特化した外国人支援ボランティア（通訳可ボランティア）登録制度を設けてはどうか。
- ・多文化共生として性急に急ぐ必要はない。自然体で行政がどうしてもはいらなければならなくなった時まで考慮する。
- ・親友にミャンマー人がいます。彼女は蟹江町で文化交流や日本に来た外国人を支援しています。津島市でもそういう活動をしているのか知りたいです。
- ・外国人が増えたけど、何の事件もおこってない（今の段階ではやることもない）
- ・相手が日本の文化に合わせる。相手に合わせる必要ない。

ご協力ありがとうございました。

これらの結果を参考に、一層多文化共生の推進に取り組んでいきます。